

★→好エントリー

○→利確

★→×エントリー

○→損切



①箇所：2~4ティックで損切を行うつもりでも、厚板割った瞬間に大衆の買戻しがズドドと入ってくる感覚が5回くらい続いて、一瞬で5万損切となった。よく振り返ると確かに損切する一瞬前に板が飛んで損切幅が大きくなることもあるがズドドが来てから損切するから損切値幅が大きくなる場面もあった。そっちの方が多かった。2~3ティック前エントリー→損切ラインに到達→値が飛ぶ→損切になっていたから、損切ラインの1ティック手前（くらいのつもり）でエントリー→割れたら損切→値が飛ぶにしないといけない。ここを相場の状況に応じて変更していかないといけないけど.....あと厚板抜けたら損切とか考えてるから買戻しが溜まったエリアで貫通されて損切値幅が大きくなる。厚い板を割りそうになったら損切。結果割れなかったらまた入れればいい。この連続5回損切で-5万を教訓に、本当に入りたい位置に指値してそこまで来なかったらエントリーしない。と割り切った方がエントリー箇所が減って機会損失もあるけど、実損失は減るから逆にプラス。エントリーできなくておいていかれても、待つことが利確の一部と考える。確実にこれを行って、多分10回くらい細かい損切行って方向感定まったら利確ライン目指して握る。これくらい利益が乗ったから利確と根拠のない利確はやめる。それをするくらいなら利益がない方がまし。利益をとことん最大化できなければ、損切繰り返す意味がない。でも、利確ラインまで引っ張るけど、抵抗線付近で跳ね返されてる感があったら一回利確。抵抗線抜けるところ付近でも4・5回細かい損切繰り返して方向感合ったら利確ラインまで握るみたいに、自分の想像以上に細かく損切をしていくことが勝ち筋だと感じた。後半は、厚い板を割る前に損切意識してみたら貫通されることが減った。永遠に取引していたいくらい面白い。こんなに勝てていなくても面白いなんて、最高すぎる。頭にあるイメージ通りに取引ができるようになったら勝てそう。でも何回も勝てるようになったかと思って負けてきたから、今回もそうなのだろう。まあそうなったとしても、負けの原因を反省して、検証を繰り返すだけなのだが